

C-25 着方による毛皮の保温性について

秋田短大○石田清子 守屋磐村

毛皮の保温性について毛を内向けにした場合と、外向けにした場合を次の4つの方法で試みた。

(1) トタン製円筒内の湯の冷める速さを測り、之をニュートンの冷却の公式による失熱常数を求めたら、毛外の場合は小である。

(2) ガラス製円筒内に通した熱水蒸気の液化量は、毛外の場合は少い。

(3) ガラス製円筒内に作った氷の融解量は、毛外の場合は少い。

(4) 同一人の一方の脛には毛を内向け、一方の脛には外向けに巻き、その毛皮と脛との間の体温測定の結果、外向の場合は温度が高い。

以上の結果から、毛皮は毛を外向けに着る方が保温性は大であるといえる。但し、毛皮と着物との間の空間の大きさは保温性と大なる関係があるから、内向けが良いともいえる。